

公表日 2026年 3月 20日

事業所名 ごばんはうすさくら 東神奈川教室

保護者等数(児童数) 25名 回収数 25件(割合100%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	3		1	とても広く満足している	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1		4	もう少しスタッフを増やして欲しい	資格者の採用を引き続き進めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	21	2		2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22			3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2		1	色々なプログラムがあって良いと思う。	5領域に沿ったプログラムを引き続き立案していきます。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	5	12			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	2				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	4	7	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	3			送迎時に様子を伝えてくださるので助かっている。	引き続き、状況の申し送りが送迎時にできるスタッフを運転・添乗に配置します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	5	1	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	6	10	6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2	1	2	質問に対する回答が遅い時がある。	回答を先延ばしにせず、原則その日のうちに回答できるようにいたします。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	1		2	HUGで子どもの様子がわかるのでとても良い	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	4		6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	5		7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	3		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	4		2	状況説明だけでなく、その後の結果報告までして欲しい。	保護者様のご要望通り、状況→結果報告を一つのサイクルとして事故等の場合にはお伝えしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	1			苦手な友達と通所曜日がかぶる際には少々不安がある。	通所日が重なる際には、離れて過ごす・スタッフが間に入るなどの工夫をして支援していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25				外出レクをとにかく楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	25				親身になって支援してくれている。	引き続き継続して支援する。

公表日

2026年

3月

20日

事業所名

こぼんはうすくら 東神奈川教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13	1	スペースは広く使うようにしている。	利用者の体が大きくなり、狭く感じる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	3	常勤・非常勤ともに適切である。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	3	空間が広いので、子どもたちの状態を圧迫感なく、広い視野で見れる。	・音が反響する ・ドアのカギに改善が必要。 ・ターンアウトのスペースが必要
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	2	遊ぶ場所、勉強する場所を子どもたちの活動に合わせて作れている。	・天井が低い ・床の汚れが気になる。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	2	マンツーマンで子どもが見れるので安心。	ターンアウトのスペースが必要。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	4	ミーティングを行い、互いに意見を言う時間が作れている。	全体で共有できる時間が少ない。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	細かくSNSや電話・口頭で保護者とのつながりを作れている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	4		・非常勤会議が必要。 ・PM出勤のため、情報を聞けない時がある。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	4	外部との連携ができています。	支援結果からの改善はまだ工夫が必要。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	2	定期的に行われ、勉強になる。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	1	季節に合わせたプログラムを作成し、空きのないプログラムを作っている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	1	保護者との面談、職員とのミーティングでより良い支援が行えるようにしている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	3	他職員も積極的に、今後の支援計画を出し合い、個々の子どもに良い支援ができるようにしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	2	個別支援計画書に沿った支援が行えている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3	日々の行動観察を職員全体で把握し、今後の課題を話し合える。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	2	一人一人に合った支援を考え、あらゆる職員も対応できるように行っている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14		チームで運動や制作などができている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14		子どもの活動を見て、今後のプログラムの改善を行っている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	1	集団活動を通して、コミュニケーションの取り方を学べている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		ミーティングの際に、その日の職員に役割分担を与えている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	6		業務後の振り返りが、送迎と重なり中々できない。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	3	ミーティングスペースでの話し合いはできている。	日々の記録ノートのようなものがあるといい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	1	現状の子どもたちの支援内容を常に見直ししている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	13	1	適切な支援ができています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14		スタッフ同士で話し合い、自己選択できるように促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	1	毎回、参画できている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	支援の体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	1	常に情報共有することで、全体的に注意を促されている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	8		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	7		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	6		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	1	送迎時に保護者に丁寧な説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		一番に子どものことを考え、より良い支援ができるよう行動している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14		日々の計画や記録などを、きちんと保護者に説明し同意を受けている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		面談の際に、時間をかけ保護者に寄り添うができています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	10		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14		すぐに責任者に報告し、すばやく対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	14		SNSなどに活用により分かりやすく発信できている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14		十分留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14		配慮するために、職員で相互に報告している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	7		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	5	マニュアルが細かくてよい	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	6		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	4	確認できている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	4	アレルギー対応について可視化し、共有ができています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	3	必要な研修が行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	4	家族との信頼関係を深く感じる。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14		日々、ヒヤリハットの共有ができています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	1	動画を用いて学んでいる。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	3	説明を常に心がけられている。		